

山口県光市と友好交流

光市制施行60周年
記念式典開催される▲
式典であいさつを
する伊橋助役

本町と友好都市として交流事業を行っている山口県光市は、昭和18年4月1日、2町が合併して光市が誕生し、今年60周年を迎えました。

これを記念して4月1日、「光市制施行60周年記念式典」が開催され、光町からは、伊橋助役・越川議長が出席しました。

午前10時、ひかり太鼓によるオーブニングから始まった式典は、厳粛な中にも多彩な演出が施されており素晴らしいものでした。会場となった、光市民ホールを埋め尽くした700人もの光市民の皆さんとともにこの式典に参加して、さらに友好交流が深まりました。



母子共同館が完成

～高齢者や身体の不自由な方に配慮～

昨年12月から建設が進められていた母子区の集会施設が3月下旬に完成しました。

この施設は、千葉県と町補助金の交付を受けて建設されたもので、スロープやトイレの構造など高齢者や身体の不自由な方が利用しやすいようになっています。今後、地域のコミュニティ拠点としての活用が期待されます。

相談をお受けします

花澤氏が行政相談
委員に再任花澤 平 氏
(橋場)

4月1日付けで総務省から花澤平氏(橋場)が、光町担当の行政相談委員に委嘱されました。

春の行政相談強調週間

5月19日～25日

町では、左記のとおり行政相談所を開設します。行政に対する皆さんの悩みを聞き、その解決の促進を図ります。

日時 5月21日(水) 午後1時～3時
場所 役場分室

たんすい
湛水防除事業木戸地区完成

白浜地区では大雨や高潮による栗山川の水位増加が原因で、頻繁に排水被害を受けていました。このため平成5年から県営の湛水防除事業により、受益面積75haを対象とした排水路と排水機場を整備し、今年3月をもちましてすべての施設が完成しました。

3月27日には、木戸排水機場の記念碑前で竣工除幕式が行われました。

完成した木戸排水機場は、栗山川下流沿岸土地改良区の皆さんで管理されています。



▲完成を祝いあいさつをする椎名理事長



◀地元の方々の協力により完成した排水路